

教育システム専攻カリキュラム・マップ

凡例	科目区分	修士課程必修科目	修士課程選択科目	学府共通科目	博士課程専攻授業科目
再掲は薄色で表示		修士課程必修科目	修士課程選択科目	学府共通科目	博士課程専攻授業科目
		専門科目	演習科目	共通科目	専門科目

区分	学修目標	修士1年				修士2年				博士1・2・3年			
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1	2	3	
D. (実践)	・社会現実を批判的に検討し、その構造を踏まえたオルタナティブを模索することができる。	・社会現実を学問的知見から批判的に検討し、その構造を踏まえたオルタナティブを模索することができる。	特別研究				修士論文	博士論文指導演習	教育文化史講究	教育情報工学講究	博士論文		
			教育法制論講究	比較国際教育学講究	教育方法学講究								
C. (能力)	・専門分野の内容の理解と、学問固有の思考を獲得する。 ・専門的な知識を統合的に把握する能力を身に付ける。	・専門分野の最新の内容の理解と、学問固有の深い思考を獲得する。 ・専門的な知識を統合的に把握する能力を身に付ける。	特別研究				修士論文	博士論文指導演習	教育文化史講究	教育情報工学講究	博士論文		
			教育法制論講究	比較国際教育学講究	教育方法学講究								
C-2. 評価・創造	・専門分野の内容の理解と、学問固有の思考を獲得する。 ・専門的な知識を統合的に把握する能力を身に付ける。	・専門分野の最新の内容の理解と、学問固有の深い思考を獲得する。 ・専門的な知識を統合的に把握する能力を身に付ける。	特別研究				修士論文	博士論文指導演習	教育文化史講究	教育情報工学講究	博士論文		
			教育法制論講究	比較国際教育学講究	教育方法学講究								
C-1. 適用・分析	・哲学、歴史学、社会学、人類学、心理学、工学（テクノロジー）、行政学、法学などの教育学を支えるディシプリンの最新の知見を用いて教育現象を捉え、分析することができる。 ・教育学の根幹である、人間の性質や社会の過去や教育現実についての科学的な知見と、人間や社会の理想に関する諸理念についての注意深い吟味とを前提とした反省的な認識を獲得する。 ・人文・社会科学の方法と論理的・批判的思考力、表現力を身に付ける。	・哲学、歴史学、社会学、人類学、心理学、工学（テクノロジー）、行政学、法学などの教育学を支えるディシプリンの最新の知見を用いて教育現象を捉え、深く分析することができる。 ・教育学の根幹である、人間の性質や社会の過去や教育現実についての科学的な知見と、人間や社会の理想に関する諸理念についての注意深く、かつ高度に学問的な吟味とを前提とした反省的な認識を獲得する。 ・高度かつ最新の人文・社会科学の方法と論理的・批判的思考力、表現力を身に付ける。	教育法制論Ⅰ	質的調査法	教育人類学Ⅱ	量的調査法	教育法制論Ⅰ	質的調査法	教育人類学Ⅱ	量的調査法			
			教育法制論Ⅱ	地域教育社会学	子どもの人類学	国際教育政策・制度論Ⅰ	教育法制論Ⅱ	地域教育社会学	子どもの人類学	国際教育政策・制度論Ⅰ	教育法制論Ⅱ	地域教育社会学	子どもの人類学
B. (知識・理解)	・人間の生成・発達と学習の過程に意図的に働きかけるものとしての教育という観点に立ち、教育実践・活動・制度さらに教育の対象である人間存在について、その可変性への信頼のもとで理解し、説明することができる。	・人間の生成・発達と学習の過程に意図的に働きかけるものとしての教育という観点に立ち、教育実践・活動・制度さらに教育の対象である人間存在について、その可変性への信頼のもとで深く理解し、学問的に適切に説明することができる。	社会教育思想論Ⅰ	教育環境社会学	現代教育思想論Ⅰ	国際教育政策・制度論Ⅱ	社会教育思想論Ⅰ	教育環境社会学	現代教育思想論Ⅰ	国際教育政策・制度論Ⅱ			
			社会教育思想論Ⅱ	教育社会学	現代教育思想論Ⅱ	社会教育思想論Ⅱ	教育社会学	現代教育思想論Ⅱ					
A. (主体的な学び・協働)	・自ら進んで課題・研究に取り組む積極性を持つ。 ・社会的課題について、適切な情報を収集し、量的・質的データを適切に分析・解釈する学問的態度をもつ。 ・人間や社会のあり方についての原理的な考察をする研究的志向をもつ。	・自ら高度な学問的課題・研究に取り組む積極性を持つ。 ・社会的課題について、適切な情報を収集し、量的・質的データを適切に分析・解釈する学問的態度をもつ。 ・人間や社会のあり方についての高度に原理的な考察をする研究的志向をもつ。	教育実践研究法	異文化適応論	開発と文化	Global Educational Policy, System and Practice	教育実践研究法	異文化適応論	開発と文化	Global Educational Policy, System and Practice			
			教育行政臨床論	教職開発論	英語・ライティング	教育実践研究法	教育行政臨床論	教職開発論	英語・ライティング	教育実践研究法	教育行政臨床論	教職開発論	英語・ライティング
A. (主体的な学び・協働)	・異なる価値観を有する他者と共に研究・活動を創り上げるための倫理的態度をもつ。	・異なる価値観を有する他者と共に研究・活動を創り上げるための深い倫理的態度をもつ。	シリアーズ人間環境学	人環コリキウム			シリアーズ人間環境学	人環コリキウム					
区分	学修目標	博士後期課程	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1	2	3
アセスメント・プラン			修士論文の内容、各演習や講義科目の成績評価、および各科目で行われるアンケート調査等に基づいて、学修目標の達成度を総合的に評価する。							博士論文の内容、各演習や講義科目の成績評価、および各科目で行われるアンケート調査等に基づいて、学修目標の達成度を総合的に評価する。			